



チャイルドが暮らす地域のご紹介

World Vision

この子を救う。未来を救う。

PHL-194416

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が、子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていくことを支援するプログラムです。チャイルドが暮らす地域と、現地でワールド・ビジョンが実施している開発プログラムについてご紹介します。

国情報

フィリピン共和国



東南アジアに位置する島国で、約7,100の島々からなっています。国土は日本の約8割で、東ティモールを除けば、東南アジアで唯一のカトリック教国です。公用語はフィリピン語(タガログ語)と英語ですが、ほかにも80前後の言語が使われています。主な民族はマレー系で、ほかにも中国系、スペイン系およびこれらの混血や少数民族がいます。雨期は8月~1月です。



出典:外務省

地域情報

サマール地域開発プログラム (PHL-194416)



支援期間: 2009年~2025年*

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都のマニラから南東へ約561Kmの場所に位置する、サマール島南部のサンタリタ市の13カ村を対象に、サマール地域開発プログラムを実施しています。サンタリタ市は、サマール州でも最も貧しい地域の1つです。主産業は農業と漁業ですが、技術や資金の不足により農業生産性が低く、マングローブ伐採の影響で、漁獲高も減少しています。農業・漁業以外の産業は乏しく、新たな知識や技術を身に付けて所得を得る機会がありません。不衛生な生活環境による感染症や下痢の頻発も問題となっています。支援地域の主な民族はワライ族とビニサヤ族で、ワライワライ語が使用されています。

地域の課題



細い木材と薄い木の板でできた家は風雨に弱く、未舗装の道は雨が降るとぬかるみ、通行が困難です



水道がないため、雨水も流入する井戸の水が生活用水として使われています。不衛生な水により感染症や下痢が頻繁に発生します



貧困

日々の食料にも事欠く**貧困世帯が多い**



頻発する自然災害

度重なる**台風による甚大な被害**



保健衛生・栄養

栄養不良の子どもの割合 約**18.5%***



教育・子どもへの暴力

貧困が原因で**学校に通っていない**

学齢期の子どもの割合 約**27%***

*2015年時点

\$ 貧困

資金や技術不足により農業の生産性が低く、漁獲高も減少しています。このため、サンタリタ市に住む住民の約8割は平均月収が約3,200ペソ(約8,400円)と、州平均の約11,200ペソ(約29,300円)を大きく下回っており、日々の必要を満たすことも難しい貧困状態にあります。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- グループで貯金し、必要に応じてメンバーに低利で融資する貯蓄・融資組合の活動支援
- 有機農法に関する技術研修



地域の人々の収入が向上し、貧困状態から抜け出せるよう支援します



頻発する自然災害

フィリピンは自然災害の被害を最も受けやすい国のひとつで、近年の気候変動によってその被害はさらに増しつつあります。支援地域も、2013年と2014年に発生した大型台風により、甚大な被害を受けました。災害に強い地域づくりが喫緊の課題となっています。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 地域の行政機関や住民対象の災害対策研修
- 強度の高い家屋を建設する方法についての研修



台風で壊れた家の修復の支援も行っています



保健衛生・栄養

保健医療施設が不足しており、スタッフの知識・技術も十分ではありません。このため、母親たちが十分に子どもをケアすることができず、栄養不良の子どもが大勢います。また、井戸や給水システムが未整備なため、安全な水を利用することができない世帯が数多く存在します。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 保護者に対する栄養管理についての研修や家庭菜園での野菜栽培支援
- 地域の保健ボランティアに対する保健衛生管理についての研修
- トイレや給水設備の設置支援



子どもたちが健康に成長できるように必要な支援を行います



教育・子どもへの暴力

子どもの人口に対して学校や教室の数が不足しているため、特に遠隔地では学校に通うことができない子どももいます。また、子どもたちに対する暴力(虐待、育児放棄、人身取引など)も問題となっています。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 学校や幼稚園の校舎の改修や備品の提供
- 教師に対する教授法についての研修
- 子どもを対象とした権利と責任に関する啓発活動



子どもたちが継続的に質の高い教育を受けられるよう支援します



支援はチャイルドの生活を支える力となります

イウォちゃんは以前は雨漏りのする隙間だらけの家に住み、お腹が空いて勉強に集中できないこともありました。

しかし、ワールド・ビジョンの支援を受け始めてから、子どもの権利についての集会や衛生改善活動などに参加し、リーダーとして活動の運営にも関わるようになりました。自分に自信が持てるようになり、学校の成績も良くなりました。

その後、台風の被害で家が壊れ、今は父親が建てた小屋に住んでいます。しかし、内側から強くなったイウォちゃんは、「必ず再び立ち上がれる」という希望を持っています。

ワールド・ビジョンは、イウォちゃんのような子どもたちが希望を持って成長できるように、支援活動を行っています。